対象：乳幼児期の子どもをもつ保護者

時間：60分程度

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ねらい | * 子育てにおいて自分の価値観と異なるものに触れたときに感じる戸惑いや疑問を共有し、価値判断   のプロセスを理解するとともに、多様な価値観を受け入れながら子育てをしていきたいという思いをもつ。 | | |
| 実施のポイント  （評価など） | ○　他者との子育て観の違いを感じる場面を想起し、誰もが同じようにストレスを感じていることを共有する。  ○　自分の価値観を大きく揺さぶられる経験をすることで、価値判断の過程や思考のプロセスについて考え、誰もが揺らぎながら子育てをしていることに気付く。  ○　日頃から心を柔軟にして多様な考え方を受け入れ、揺らぎながら子育てをしていくことの大切さに気付く。 | | |
| 事前準備 | ○　あらかじめ４人程度のグループに分かれておく。  ○　筆記用具　　○　ワークシート　　○　アンケート用紙（必要に応じて）  ○　資料　　○　付せん紙　　○　名札 | | |
| 時　間 | 学習活動 | 学習活動のねらい（◎）とポイント（・） | 準備物 |
| ５分  **導 入** | ・ワークの趣旨説明  ・３つの約束  ・アイスブレイク  　　（自己紹介） | ・和やかな雰囲気づくりをする。  ・発言順を決めておく。  ・自己紹介の中で子育てについての知識や情報を主にどこから得ているかを話す。 | 名札  ３つの約束 |
| ８分  **展 開** | **ワーク１**  ・自分とは異なる価値観に触れた場面を想起し、気持ちをグループ内で共有する。  **ワーク２** | ◎子育てに関して他者との考え方の違いから生まれる戸惑いは誰もが感じていることに気付き、異なる価値観に触れたときに感じるストレスを共有することをねらいとする。  ・ワークシートに自分とは異なる価値観に触れた場面を思い出し記入する。  ・想起しやすいように、ファシリテーター自身のエピソードを話したり、戸惑いを感じた場面を例示したりする。  ・ワーク１で話したことをファシリテーターが紹介し、ワーク２につなげる。 | ワークシート |
| 30分 | ・AかBを選択し、その理由をグループ内で発表する。  ・自分が選択した資料を読む。  ・グループの意見を聞いて、改めてＡかＢを選択する。  ・自分が選択していない資料を読み、改めてＡかＢを選択する。 | ◎異なる価値観に触れ、自分の価値観が揺らぐ経験をするこ  とをねらいとする。  ・「わがまま」について「A許す」「B許さない」のどちらか  を選び、付せん紙に記号を書いて示す。  ・選んだ理由や子どもの頃の経験や自分を取り巻く環境等を話すことで、それぞれの価値観の背景を共有する。  ・ファシリテーターは子どもの頃の経験を思い出したくない人もいることをふまえておく。  ・自分が選択した資料を読んだ後、グループの意見を聞いて  思ったことを記入し、改めてＡかＢかを選択する。  ・自分の価値観とは真逆の価値観（資料）を読んで、自分の  価値観が大きく揺さぶられる経験をする。  ・資料は真逆の価値観に触れることが目的であるため、真逆  　の価値観が「正解」として捉えられないよう配慮する。 | ワークシート  資料Ａ　 資料Ｂ  付せん紙 |
| ７分 | **ワーク３**  ・価値判断のプロセスを考える。 | ◎ワーク２をふりかえり、思考のプロセスに気付くことをね  らいとする。  ・思考の変化をふりかえり、何かの影響を受けて価値判断をしていることに気付くとともに、自分と他者との意見が異なっていることは当たり前だと感じることができる。 | ワークシート |
| ５分 | **資料紹介**  ・資料を読む。 | ・ワークシートにある資料を読み、自分の価値観、他人の価値観をお互いに認め合う関係をつくることの大切さに気付く。 | ワークシートにある資料 |
| ５分  **まとめ** | **ふりかえり**  ・感想を記入する。  ・感想を発表する。 | ◎学習についての感想を記入し、グループ内で発表し、実践  への意欲を高めることをねらいとする。  ・本日の学習を受けて、家庭や子どもとの関わりの中で実践  してみたいことを書く。 | ワークシート |